

精密工学会 2014 年度 春季贈賞式

平成 26 年 3 月 19 日(水)午後 3 時より、東京大学の本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センターの伊藤国際謝恩ホールにて、精密工学会高城賞の表彰式が、執り行われました。当財団の精密測定技術に関する表彰事業の一環として、実施いたしております。

当日は、理事長代理で関口常務理事・事務局長が出席し、2 件の論文に授与いたしました。

高城賞は産学界の研究者や技術者が精密工学会を通して学術・基礎技術の領域で活動することを大いに鼓舞するため、対象論文内容が産学界全体でなされた成果であり、かつ筆頭者が産業界所属であるものの内、特に優れた論文に対して贈賞されております。

精密工学分野で独創性に優れ、工業的価値が高いと認められる論文で、その内容が産業界全体で実施されたものを対象とし、精密工学の基礎技術分野での産業界の活動を促進することを目的として贈賞されます。

この賞は論文著者個人を贈賞するとともに、それを可能とした中心的研究開発実施機関もあわせて表彰する特徴のあるものです。

1) 動圧グループ流体軸受潤滑剤の劣化—潤滑剤の単純熱劣化と軸受内連続運転による劣化の差異—

(精密工学会誌 79 巻 6 号)

大野英明様(パナソニック ファクトリーソリューションズ), 松本将様(早稲田大)



2) 大規模な映像識別のための改変にロバストな Video Signature

(精密工学会誌 79 巻 11 号)

岩元浩太様(日本電気), 大網亮磨様(同左), 佐藤貴美様(同左), 野村俊之様(同左)

